

2011—2012 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

5



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー第2510地区
2011～2012年度 ガバナー 熊澤隆樹

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F
TEL (011)207-2510 FAX (011)207-2512
e-mail : rid2510@nifty.com



2011-2012年度国際ロータリーテーマ

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

Reach Within to Embrace Humanity



国際ロータリー第2510地区2011-2012年度 地区目標

- I ロータリーの活動を担う新しい会員を増やすこと
- II クラブは(全会員参加型の)新しい奉仕活動を年度内に一つ行うこと
- III まわりの人にロータリーを巧みに語り伝えること

CONTENTS | 目次

ガバナーメッセージ	1
福島キッズキャンプin北海道<春編>	2
『福島キッズキャンプin北海道』 第6グループ活動報告	3
第8グループIMを終えて	4
第7グループIM報告「長期計画と未来の夢計画を知ろう」	5
第4・第5グループ合同IM開催報告	6
ローターアクト海外研修を終えて	7
『絆で結ぶ♥あったか千歳』開催報告	8
米山寄付、ロータリー財団寄付	9
新会員のご紹介/訃報/例会日の変更について/文庫通信	10
地区カレンダー(5月・6月)	11
出席率・会員数	12



『入りて学び、出でて奉仕せよ』

国際ロータリー第2510地区

2011-2012年度 ガバナー

熊澤隆樹

(小樽RC)

私達のロータリー年度も残すところ、5月・6月となりました。月信もこれまで10回お届けしてまいりました。これまで、月信そして公式訪問等を通してRIのテーマ・方針を伝えてきましたが、それをどう実行するかは、クラブの判断に委ねられています。その事は、1月号で紹介したポールの自伝にも、「いかなる場合にもロータリーはその組織を自治範囲にとどめ、もってその組織内において自由に実験（奉仕）を試みるということを各クラブの特権とすべきである。」とあります。しかし、私は敢えて、**クラブの強化とサポート**というRIの戦略計画の三本柱の一番にあげられているということで、CLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）について各クラブへ検討をお願いしてまいりました。月信2月号で『**ロータリーが安定・成長・成功を遂げるための組織の改変です。**』と述べさせていただきました。

また、前述のポール・ハリスの自伝（ロータリーの理想と友愛）では、『ロータリーの友誼（友情）は果たして真の社会奉仕に到達するものか、あるいは社会奉仕を毀損するものか、「挨拶と集会」とを事とする会員は、口にロータリーの理想を得々と語るが、実は元来個人同士の親密和睦に興じている輩であるののではないか、友誼を内心盛んならしめるとはどういうことか、ロータリー会員とは個人あるいは団体の活動を通して奉仕という理想を成就するため、外観だけの友誼を盛んにしようとして親睦している有力な実業家や専門職業人であるか、ということにある。』と述べており、クラブでの会員の親睦のあり方に問題を投げかけており、ポールは会員の大多数が**ロータリーの事業に参加活動することを願いつつ、その事業を発展させまた興味を生ぜしめるようたえず努力することを良策**とすると、クラブの奉仕活動の有り方について明言しております。

かねてから、私は親睦と奉仕はコインの裏表であり、どちらを表にするか各々期を預かるクラブの会長に判断が委ねられると思っております。

私は今度、第2530地区（福島）への支援活動では、地区奉仕プロジェクト委員会（阪崎委員長）、ガバナー補佐、クラブ会長・幹事そして地区スタッフの皆様は、この奉仕活動を通じて、お互いに深い友情と信頼が生まれたことを強く感じております。

クラブにおいても、地区の奉仕プロジェクト委員会が今度行ったようにクラブの奉仕プロジェクト委員会が職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・新世代奉仕の四大奉仕部門をまとめて、地域社会のニーズをつかまえて、複数の部門による協力で奉仕活動に取り組めば、それが、戦略計画の第二の柱、人道的奉仕の道を開いてくれることを今度の震災プロジェクト活動を通じて実感しております。また、これからの奉仕活動には、クラブ内の委員会同士の協力そしてまた、近隣クラブとの協力も新しい奉仕活動のあり方を示していることはクラブ公式訪問の中でも、随所に見られました。

最後に、残り2ヶ月、お互い健康に留意して楽しい有意義な年度としましょう。

『福島キッズキャンプin北海道』第6グループ活動報告

第2510地区 第6グループ

ガバナー補佐 谷内 馨一
(小樽RC)

3月27日、千歳空港に着いた33名の子ども達、付き添いの福島大学ボランティア等4名は早速小樽へ直行、予定通り14:30分小樽運河に到着しました。第6グループ各クラブ総意で迎えようという呼びかけに応じて頂き、グループ内7クラブの会長・幹事・他会員皆様の出迎えを受ける中、やや緊張の面持ちの子ども達が姿を見せてくれました。

小樽運河を背景に記念撮影後、経済センタービルへ移動し、当企画の開会式・歓迎会を開催。子ども達が入場すると同時に中学生達が主体になった「おたる潮太鼓」が力強く響き、この日の子ども達を歓迎すると共に励ましの音を響かせてくれました。熊澤ガバナーの歓迎の言葉、そして各クラブ会長のお国自慢による歓迎挨拶後、子ども達の個人名が刻まれたストラップをお土産として差し上げ、最後に子ども達の代表者から『皆さん、この度は本当にありがとうございました。今日からの北海道をたくさん楽しんで帰ります』という元気な挨拶の後に、一路スキー場赤井川キコロリゾートへと向かいました。快晴に恵まれた28日～29日の2日間、スキー場でインストラクター指導のもとに存分にスキーや雪遊びを楽しんだようです。



次いで30日午前中は小樽水族館を見学、お昼は目の前で板前さんが握るお寿司を食べ、小樽の名物を味わって戴きました。やはり福島県の寿司ネタとは違う北海道ネタに思わず子ども達から“おいしい！”という声が上がった時は、裏方の私達も子ども達が喜ぶ顔に安堵とともに互いの顔に満足の笑みを浮かべたものです。別れの際、『みんな元気でね！ またお会いしましょう、さようなら！』と書かれた横断幕で見送り、次の予定地札幌「石屋製菓」へと向かいました。この後は、札幌第4・第5グループが引き継ぎ、第6グループとしての役割はここで終了となりましたが、今回、この趣旨について寿司屋通り数店のお寿司屋さん（代表中村社長）が無料奉仕をして頂き、また、石屋製菓さんには入館料・菓子作り体験料を無料奉仕（特別）して頂きましたこと、そして各報道関係者（事前に取材願いをしており、中でも小樽南クラブのS T V小樽支局長永原勢子様）に感謝＝どさんこワイド放映）の皆様の協力に心から感謝と御礼を申し上げます。



今回の奉仕事業はまさしくロータリーとして人道奉仕そのものであったと思います。一方で、もしこれがわが身・わが子供達に起きたらどうなるのか、という現実感がありました。地震大国日本、人事ではありません。互いの思いやり・絆を大切にすべきことを心底から教えられた企画でありました。最後に第6グループ各クラブ・会員皆様のご協力に厚く御礼申し上げご報告と致します。



第8グループIMを終えて

第2510地区 第8グループ

ガバナー補佐 **山科 幸一**
(えりもRC)

2012年3月3日(土) えりも町字えりも岬にある「風の館」において、第8グループ会員120余名のご参加を得て開催できました事に対して、参加会員に深く感謝とお礼を申し上げます。来賓には、熊澤ガバナー、細川ガバナー・エレクト、岩本溥叙えりも町長、そして研修のテーマである「CLP導入と会員増強について」の講師、丸山淳士地区研修委員(PG)及び山本雅昭地区大震災救援奉仕プロジェクト委員、杉江俊太郎地区代表幹事をお迎えして開催致しました。

当グループは、ガバナーの公式訪問時に採択を要請されていた「CLP導入」について既に検討している静内ロータリークラブがありますが、これを第8グループの会員全員が理解することが大事と思い、講演会を開催することにしました。

開催前日は風の強いえりも町にしては穏やかな好天に恵まれたのですが、開催日は一転、小雪降る寒い日になりました。会場は3月1日に開館したばかりのため、半地下式の会館は十分に暖まっておらず、参加者には大変寒い思いをさせて誠に申し訳ございませんでした。

始めにIMを楽しいものにするために、襟裳岬沖に棲息するゼニガタアザラシの生態映画を鑑賞し、それから展望台から望遠鏡を使って実物を見て戴きました。

講演は、丸山淳士地区研修委員のパワーポイントを使った「会員増強をするための組織力の向上について」を、ユーモアを交えながらテンポの良い口調で、1時間15分があっという間に過ぎ時間が足りない程の講演でした。

熊澤隆樹ガバナーからは、講演を受けて「CLP」はクラブの組織を効率の良いものにし、奉仕活動を活発で効率の良いものにする。そのためには会員の拡充を図り、社会からロータリーの存在を分かるようにするのが主眼と話されていました。まず「型から入るCLP」という事で第2510地区推奨CLPモデルを提示しますので、これを参考にして各クラブで検討し、移行できるところから採用してみて下さいと提言されました。



最後に山本雅昭地区大震災救援奉仕プロジェクト委員から、パワーポイントを使って「東日本大震災救援について」、詳細な報告がなされ、今後も継続的な支援の必要性を感じました。

第8グループの会員の皆様が、講演で得た知識を今後のクラブ運営の一つでも生かせるならば幸いです。開催関係者の皆様にごころからお礼を申し上げ報告とさせて戴きます。

IM 報告 テーマ「長期計画と未来の夢計画を知ろう」 3月18日(日)午後1時開会点鐘

第2510地区 第7グループ

ガバナー補佐 **大坂直人**
(由仁RC)

由仁町文化交流館「ふれーる」を会場として第7グループのIMを開催致しました。IMを開催するに当たり、掲げたテーマについての学習と地区の震災救援事業の理解、そしてグループ内ロータリアンの交流を目標に掲げました。

冒頭まず阪崎健治朗地区大震災救援奉仕プロジェクト委員長から地区のプロジェクトの進行状況と今後の計画について解説をしていただきました。

月信その他で活動の情報が流されてはありましたが、各ロータリアンにその情報が浸透しているとは言いがたかったので、今回委員長自らの解説により活動の様子、効果、反響等が知らされ自分たちの支援がどのように形になっているかを実感できました。



基調講演は地区研修委員の丸山淳士PGに今回のテーマについて"いろはのい"から解説をしていただきました。いつもの軽快な語り口調もさることながら、敷居の高いと思われていた長期計画・未来の夢計画を平易に解説していただいたことにより、各ロータリアンが早速明日からでも着手しようじゃないかという力強いエネルギーを、イノベーションを与えられた感がありました。

講演の後、各クラブの入会后数年というロータリアンに登壇していただき、丸山淳士PGを挟んでパネルディスカッションを行いました。基調講演の充実により目標であったテーマの学習が八分方到達した中で、各ロータリアンに自クラブにおける取り組みやテーマに対する自身の印象を語っていただきましたが、クラブ理事などの役職でない限り具体的にそれらテーマに関わる事などなかったと、それまで関心がうすかった現状を語られた方が多く今回のIMが良いきっかけとなるよう期待されます。丸山淳士PGのアドバイスを織り交ぜながら今後の取り組み方を学びました。

学びのあとは、アトラクション、相互の交流を楽しみ、最後は手に手つないで一つの輪でロータリーの友情を確認しIMを終了いたしました。





第4・第5グループ合同IM開催報告

第2510地区 第5グループ

ガバナー補佐 **齋藤 康嗣**
(札幌真駒内RC)

第4・第5グループ合同IMが平成24年3月31日(土)に札幌市内ホテルライフオーソ札幌で開催されました。札幌市内の多くの会員にご登録戴き厚くお礼を申し上げます。

来賓には、熊澤隆樹ガバナー、伊藤義郎国際ロータリー元理事、森本正夫パストガバナー、岩城秀晴パストガバナー、塚原房樹パストガバナー、丸山淳士パストガバナー、矢橋温郎パストガバナー、佐々木正丞パストガバナー、杉江俊太郎地区代表幹事をお迎えし、来賓の挨拶は熊澤隆樹ガバナーと伊藤義郎国際ロータリー元理事から戴きました。

IMの内容は「活力あるクラブをめざして～ロータリーの活動を担う新しい会員を増やそう～」でした。フォーラムにおいては丸山淳士パストガバナーの「会員増強の鍵」の講演の後、4クラブの会員増強委員長による各クラブで実施している会員増強の方法、方策等を討論し、総括は矢橋温郎パストガバナーにまとめて戴きました。各クラブの「会員増強」の参考に成ったかと思えます。

基調講演は「安全と安心の社会科学」東日本大震災と福島原発事故について、霜山龍志札幌大通公園ロータリークラブ会長にお願いし、内容のある危機管理についてのご講演を戴きました。講評は熊澤隆樹ガバナーから「会員増強」の強化を各クラブにお願いして結びと致しました。

又、今回は地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会が実施致しました「福島のキッズキャンプin北海道」の福島飯舘村の子ども達33名を、IM会場内の多数のロータリアンの皆様で大きな拍手でお迎え致しました。熊澤隆樹ガバナーから歓迎の挨拶の後、国際ロータリー第2530地区を代表致しまして福島県郡山西ロータリークラブ安藤元二会員から福島状況とお礼の言葉がありました。

その後、子ども達全員から元気な挨拶「ロータリーのお兄さん、お姉さんありがとうございました」があり、地区のロータリアンに感謝しておりました。

最後に、IM会場内のロータリアンの皆様で福島が元気になるように大きな拍手で激励致しました。なお皆様から戴きました登録料内から子ども達に記念品を贈ったことをご報告致します。

北海道神宮の絵馬に、子ども達が願いを書いた内容に「福島の復興」が多くあり、これから日本を背負う子ども達に希望を与えることが、我々の責務であると考えます。

最後に、IMに登録、参加戴きました皆様に深く感謝致しましてご報告とさせていただきます。



海外研修を終えて



ローターアクト

地区代表 **工藤 睦美**
(赤平RAC)

2月8日から2月12日にかけて海外研修に参加しました。場所は『台湾』。台湾は暖かいというイメージでしたが実際到着すると、意外に寒かったです。私たちが行く前日くらいまでは暖かかったみたいですが…。台湾は物価や若者の流行などあまり日本とは変わらないように感じました。そして、どこに行ってもほとんど日本語が通じたり、日本のものがたくさん売っていたり、日本の芸能人のポスターが貼ってあったりと「ここは日本か？」と思うほどでした。

それをさらに感じたのが台湾のアクターとの交流でした。私たちは研修4日目に台湾にある10クラブ合同の例会に参加しました。会場には、アクターはもちろん、ロータリアン、一般の方、総勢300人～400人が参加していました。



合同例会の様子

『北海道ワーキングホリデー』というテーマのもと、実際にワーキングホリデーに参加した方から報告がありました。言葉が通じず、理解するのに苦労しましたが、おそらく、その方が作った映像を見ていると、北海道のすばらしさについてお話していたのだと思います。北海道に対する『愛』を感じました。

そして、私たち第2510地区のメンバーは北海道の観光について発表しました。北海道は特に四季がはっきりしているのでそれにあわせて、第2510地区のクラブがある街を紹介しながら、その近隣の観光都市もあわせて紹介しました。

台湾の例会はとても気さくな感じで、私たちの例会のような堅い雰囲気のものとは違い、形式にとらわれず自分たちが楽しむための例会だったように感じました。

その夜は、台北東海ローターアクトクラブと食事会でした。このクラブは例会を日本語でおこなっているクラブで、みなさんととても日本語が上手で驚きました。みなさん優しく、クラブのことなどいろいろとお話してくれました。札幌に仕事で滞在していた人、東京の大学に通っている人がいたり日本と深い関わりがあると知り、大変嬉しかったです。

海外のローターアクトの例会にはなかなか参加できないうえ、日本とは違う行事や例会の雰囲気など、見るもの感じるものが新鮮でとてもいい経験になりました。また、台北東海ローターアクトクラブとの交流を通し、アクトの輪が広がり、世界のローターアクトとのつながりを感じることができました。これを機に、より交流を深めていき、『つながり』を持続けていけたらと思います。



台北東海RACのみなさんと

最後に、研修に同行していただいた蝦名ローターアクト委員長やアクターのみなさんと有意義な時間を過ごせたことをとても嬉しく思います。そして、海外研修に参加するにあたり、ご協力いただきましたロータリークラブのみなさまに心から感謝しお礼申し上げます。

本当にありがとうございました。



『絆で結ぶ♥あったか千歳』を開催 ～千歳に住む避難家族への温かい心と愛の手を!～

千歳ロータリークラブ（今村静男会長）と千歳セントラルロータリークラブ（羽生有三会長）は、東日本大震災から1年目の2012年3月11日、ANAクラウンプラザホテル千歳で「絆で結ぶ♥あったか千歳」を開きました。千歳・恵庭などから480名の出席を得て、犠牲者の鎮魂と復興の祈りを捧げ、震災直後に派遣された陸上自衛隊第七師団副師団長はじめ、幹部隊員による生活支援、施設支援、活動などが報告されました。また、多くの方々から寄せられました「避難者支援金」を千歳の福島・宮城・岩手三県人会会長に贈り、県人会を通じて被災地から千歳に避難している方々に届けられることになりました。

◆**2クラブ会長の対話から**：2011年11月10日、2つのロータリークラブ会長が、東日本大震災で被災し千歳に避難している家族が寒さに向かう時期に不自由な生活をしている実情を憂い、「避難家族をロータリアンが温かく迎え入れる環境を」との思いが一致、人道的支援活動が動き出しました。

◆**準備から4ヵ月、千歳に避難した家族への支援の輪**：11月29日、準備委員会をスタートし、翌月からは実行委員会に移行して回を重ね、議論を積み重ねた結果、千歳に避難している被災者家族を「温かく迎え入れ、生活支援を行う」ことを目的にチャリティ「絆で結ぶ♥あったか千歳」開催となりました。

震災で多くの尊い命が失われ、多くの被災者が新たな住処を探す姿は、辛く寂しいものです。生まれ育った地、住み慣れた故郷から避難を余儀なくされた方々の中で、千歳に避難して新たな生活をスタートされた方々に、この地を新たな故郷と感じ取っていただけるよう温かく、そして優しく迎え入れ、支援の輪を広げることになりました。



◆**友好団体を巻き込んだ活動展開**：千歳市内では、ロータリー、ライオンズ各2クラブと青年会議所が2008年、市制施行50周年祝賀会を共催するなど、共に活動する下地が出来上がっていました。今回は2つのロータリークラブが初の共催となり、ライオンズクラブ、青年会議所に加え国際ソロプチミスト、プロバスクラブ、ローターアクトクラブなど奉仕活動の志を持っている友好団体を巻き込んだ活動とすることができました。

◆**寄せられた多くの善意!**：市民はじめ企業等に呼び掛けたところ非常に関心が高く、一部を避難者支援の寄付とするチケット販売が500枚を超え、生活情報誌「ちゃんと」の広告「私達は東日本大震災復興を支援する」の全面協力等により、「避難者支援金」として102万1,040円の善意が集まりました。この度の2クラブ共催事業は、多くの方々のご理解とご支援より、地域の絆を強め、温かい気持ちを育んでいくことができ、効果があったと思っています。

当日、熊澤隆樹ガバナーには、地区の大震災救援奉仕活動についてのご報告と、ロータリーのPRをして頂き、ありがとうございました。

(記事提供：千歳ロータリークラブ・千歳セントラルロータリークラブ)



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

◆米山功労者

砂川RC 二宮 健志 会員 (1回) 3月29日

◆米山功労クラブ

札幌あけぼのRC (7回) 3月27日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

◆メジャードナー

函館五稜郭RC 酒井 正人 会員 (レベルⅡ) 11月25日
函館北RC 小笠原 孝 会員 (レベルⅡ) 1月26日
札幌南RC 岩城 秀晴 会員 (レベルⅡ) 3月28日

◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

江別西RC 支部 英孝 会員 (1回) 2月29日
当別RC 安藤 正 会員 (2回) 2月29日
当別RC 千葉 一男 会員 (2回) 2月29日
当別RC 島 義慈 会員 (1回) 2月29日
当別RC 下段 寿之 会員 (2回) 2月29日
当別RC 武田 昭龍 会員 (2回) 2月29日
当別RC 辻野 修 会員 (2回) 2月29日
当別RC 内海 英徳 会員 (2回) 2月29日
留萌RC 原田 功 会員 (1回) 3月29日
留萌RC 高田 潔 会員 (2回) 3月29日
岩見沢RC 青木 司 会員 (1回) 3月30日
岩見沢RC 荒木 敏博 会員 (1回) 3月30日
岩見沢RC 三嶋 顕 会員 (2回) 3月30日
岩見沢RC 大屋 均 会員 (4回) 3月30日
当別RC 大畑 博行 会員 (1回) 3月30日
当別RC 米口 稔 会員 (2回) 3月30日
札幌RC 小山 司 会員 (1回) 3月15日
札幌西北RC 出口 修 会員 (1回) 3月23日
札幌西北RC 西岡 憲廣 会員 (3回) 3月23日
札幌西北RC 大島 利一 会員 (7回) 3月23日
札幌東RC 広瀬 清 会員 (7回) 3月30日
札幌東RC 神谷 健蔵 会員 (1回) 3月30日
札幌南RC 朝妻 邦雄 会員 (2回) 3月13日
札幌南RC 福山恵太郎 会員 (4回) 3月13日
札幌南RC 橋本 耕二 会員 (2回) 3月13日
札幌南RC 澤田 隆一 会員 (1回) 3月13日
札幌南RC 島津 宏興 会員 (3回) 3月13日
札幌南RC 坪田 幸栄 会員 (2回) 3月13日
小樽RC 坂口栄之助 会員 (2回) 3月23日
小樽南RC 荒田 一正 会員 (2回) 3月13日
小樽南RC 本間 彰 会員 (1回) 3月13日
小樽南RC 梶 健一 会員 (1回) 3月13日
小樽南RC 新倉 吉晴 会員 (2回) 3月13日
小樽南RC 大淵 勝敏 会員 (1回) 3月13日
小樽南RC 大倉 俊一 会員 (2回) 3月13日
小樽南RC 斎藤 仁 会員 (2回) 3月13日
小樽南RC 高橋 哲夫 会員 (1回) 3月13日
小樽南RC 坪井 純司 会員 (1回) 3月13日
千歳RC 浅沼 廣幸 会員 (1回) 3月30日
千歳RC 本宮 輝久 会員 (2回) 3月30日

千歳RC 瀧澤 順久 会員 (2回) 3月30日
静内RC 富岡 豊 会員 (1回) 3月30日
静内RC 山口 一史 会員 (1回) 3月30日
函館RC 阿部幸太郎 会員 (1回) 3月6日
函館RC 太宰 昌文 会員 (1回) 3月6日
函館RC 遠藤 哲二 会員 (2回) 3月6日
函館RC 藤井 方雄 会員 (2回) 3月6日
函館RC 池見 厚一 会員 (1回) 3月6日
函館RC 稲荷 康弘 会員 (2回) 3月6日
函館RC 石田 勉 会員 (2回) 3月6日
函館RC 石塚 元彦 会員 (1回) 3月6日
函館RC 景沢 周平 会員 (1回) 3月6日
函館RC 神田 勝美 会員 (1回) 3月6日
函館RC 加藤健太郎 会員 (2回) 3月6日
函館RC 加藤 憲孝 会員 (1回) 3月6日
函館RC 小林 明 会員 (2回) 3月6日
函館RC 小泉 康祐 会員 (1回) 3月6日
函館RC 今 初弘 会員 (1回) 3月6日
函館RC 久保 俊幸 会員 (1回) 3月6日
函館RC 工藤 敏夫 会員 (1回) 3月6日
函館RC 黒崎 敏雄 会員 (1回) 3月6日
函館RC 丸山 雄一 会員 (1回) 3月6日
函館RC 松田 俊司 会員 (1回) 3月6日
函館RC 宮崎 昌 会員 (1回) 3月6日
函館RC 森川 順治 会員 (2回) 3月6日
函館RC 麦倉 信 会員 (1回) 3月6日
函館RC 中島 敏幸 会員 (2回) 3月6日
函館RC 中村 壮一 会員 (2回) 3月6日
函館RC 中山 浩一 会員 (2回) 3月6日
函館RC 額賀 康之 会員 (2回) 3月6日
函館RC 大槻 弘 会員 (2回) 3月6日
函館RC 坂本 修康 会員 (1回) 3月6日
函館RC 佐藤 公郎 会員 (2回) 3月6日
函館RC 太刀川善一 会員 (3回) 3月6日
函館RC 竹田 公一 会員 (3回) 3月6日
函館RC 梅田 栄一 会員 (1回) 3月6日
函館RC 渡邊 兼一 会員 (1回) 3月6日
函館RC 百合 宣博 会員 (1回) 3月6日
函館亀田RC 坪山 元彦 会員 (1回) 3月27日
函館五稜郭RC 光銭 裕二 会員 (8回) 3月28日
函館東RC 今井 義憲 会員 (1回) 3月28日

◆ポール・ハリス・フェロー

新札幌RC 田中 由彦 会員 2月28日
函館北RC 藤田 正男 会員 2月29日

函館北RC 渡部 二康 会員 2月29日
留萌RC 森 幹雄 会員 3月29日
岩見沢RC 芥川 勝行 会員 3月30日
岩見沢RC 前野 達志 会員 3月30日
岩見沢RC 佐々木啓司 会員 3月30日
岩見沢RC 玉田 忠 会員 3月30日
岩見沢RC 谷 勲 会員 3月30日
岩見沢RC 山根 良隆 会員 3月30日
札幌あけぼのRC 藁輪眞智子 会員 3月27日
札幌南RC 富樫 昭夫 会員 3月13日
倶知安RC 皆川 岩保 会員 3月13日
小樽南RC 阿部 誠 会員 3月13日
小樽南RC 安部 新市 会員 3月13日
小樽南RC 荒木 和廣 会員 3月13日
小樽南RC 荒内 豊 会員 3月13日
小樽南RC 濱本 進 会員 3月13日
小樽南RC 菊池 友美 会員 3月13日
小樽南RC 紺谷 茂夫 会員 3月13日
小樽南RC 坂口 榮一 会員 3月13日
恵庭RC 雛田谷武志 会員 3月12日
浦河RC 小関 孝雄 会員 3月29日
函館RC 赤穂 頼良 会員 3月6日
函館RC 幅口 堅二 会員 3月6日
函館RC 原 一彰 会員 3月6日
函館RC 原 真人 会員 3月6日
函館RC 石橋多喜雄 会員 3月6日
函館RC 伊藤 正明 会員 3月6日
函館RC 岩塚 晃一 会員 3月6日
函館RC 加賀谷聰徳 会員 3月6日
函館RC 上條 博英 会員 3月6日
函館RC 金子 敦 会員 3月6日
函館RC 日下部博久 会員 3月6日
函館RC 松本 秀雄 会員 3月6日
函館RC 中村由紀夫 会員 3月6日
函館RC 成澤 茂 会員 3月6日
函館RC 佐藤 龍一 会員 3月6日
函館RC 玉田 正吾 会員 3月6日
函館RC 渡部 禎一 会員 3月6日
函館亀田RC 大北 健雄 会員 3月27日
苫小牧北RC 山田 新一 会員 3月28日

◆ベネファクター

江別RC 安孫子建雄 会員 2月28日
江別RC 八島 壯之 会員 2月28日



新会員のご紹介

(敬称略)



千歳RC
三上 洋
1月12日入会
内科医



千歳RC
斉藤 えみこ
1月12日入会
生命保険



千歳RC
南雲 州治
1月12日入会
不動産売買



千歳RC
藤井 雅一
3月29日入会
ホテル業



千歳RC
金沢 明法
3月29日入会
ガス工業

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



沖館 純吉 名誉会員 (江差RC)

2012年4月7日逝去(享年84歳)

【ロータリー歴】

1972年12月 入会
1976~77年度 会長

【表彰関係】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

例会日の変更について

白老ロータリークラブは、2012-2013年度より下記のとおり、例会日を変更いたしますので宜しくお願い申し上げます。

例会日の変更

- ・現行 ▶▶▶▶ 毎 火曜日 12時30分から
- ・変更後 ▶▶▶▶ 毎 **水曜日** 12時30分から

会場(会場は変更ございません)

北海道白老郡白老町大町2丁目3番4号
白老経済センター2階 会議室

文庫通信



(295号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご利用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

- ◎ 「RI長期計画からRI戦略計画へ！」 南園義一 2012 1p (D.2710月信)
- ◎ 「RMIアンケート調査 (日本) 概要報告」 RI 2010 2p
- ◎ 「RI広報に関するアンケート調査から得られた結果報告」 RI 2008 15p
- ◎ 「ロータリーの意味論 (6) 共通の希望、夢、願い」 久野 薫 2011 4p (D.2680月信)
- ◎ 「ロータリーの意味論 (7) リーダーシップ」 久野 薫 2012 4p (D.2680月信)
- ◎ 「鈴木正三の思想とロータリー」 安平和彦 2012 8p (D.2680インターシティ・ミーティング報告書)
- ◎ 「CLPを考える」 田村泰三 2011 1p (D.2710月信)
- ◎ 「まことのロータリアン」 大澤徳平 2011 1p (D.2640月信)

[上記申込先: ロータリー文庫]



地区カレンダー（5月・6月）

5月		6月 ローターリー親睦活動月間	
1(火)		1(金)	第3回日台ロータリー親善会議（京都）
2(水)		2(土)	函館亀田RC創立40周年記念式典（函館） ～3(日) 第1回全国インターアクト研修会（神戸）
3(木)	憲法記念日	3(日)	
4(金)	みどりの日	4(月)	
5(土)	こどもの日	5(火)	
6(日)	～9(水) 国際大会（タイ・バンコク）	6(水)	
7(月)		7(木)	
8(火)		8(金)	
9(水)		9(土)	
10(木)		10(日)	現新地区委員長・ガバナー補佐 合同引継ぎ会議（小樽）
11(金)		11(月)	
12(土)		12(火)	
13(日)		13(水)	
14(月)		14(木)	
15(火)		15(金)	
16(水)		16(土)	～17(日) インターアクト年次大会（札幌）
17(木)		17(日)	
18(金)		18(月)	
19(土)	岩内RC創立50周年記念式典（岩内）	19(火)	
20(日)	第1グループIM（深川）	20(水)	
21(月)		21(木)	
22(火)		22(金)	
23(水)		23(土)	江差RC創立50周年記念式典（江差） ロータリーアクト年次大会（芦別）
24(木)		24(日)	
25(金)		25(月)	
26(土)	苫小牧東RC創立20周年記念式典（苫小牧） 米山学友・学友委員会合同家族懇談会（札幌） 長沼国際交流フェスティバル（長沼）	26(火)	
27(日)		27(水)	
28(月)		28(木)	
29(火)		29(金)	
30(水)		30(土)	2011-12年度終了
31(木)			

2012年5月のロータリーレート 1ドル82円



出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2011.7.1	2012.3.31	増減	内女性	
1	深川	3	33	37	4	2	83.00
	羽幌	4	50	48	-2	2	70.75
	妹背牛	4	9	10	1	0	90.00
	留萌	3	44	41	-3	3	67.76
	小計		136	136	0	7	77.88
2	赤平	3	29	28	-1	0	68.00
	芦別	4	37	38	1	1	78.47
	砂川	4	48	50	2	0	93.06
	滝川	5	84	86	2	2	75.00
	小計		198	202	4	3	78.63
3	美唄	4	34	35	1	0	81.90
	江別	5	29	35	6	2	87.61
	江別西	3	25	27	2	3	95.10
	岩見沢	4	81	83	2	0	88.11
	岩見沢東	3	23	22	-1	4	90.90
	栗沢	4	23	23	0	1	96.70
	栗山	4	27	23	-4	2	96.00
	当別	3	28	26	-2	0	91.26
	小計		270	274	4	12	90.95
4	札幌	3	115	123	8	0	98.87
	札幌あけぼの	4	15	16	1	2	100.00
	札幌はまなす	3	18	18	0	3	88.89
	札幌北	4	39	36	-3	4	87.50
	札幌モーニング	4	47	47	0	0	69.32
	札幌西	3	53	52	-1	5	90.56
	札幌西北	4	31	32	1	4	90.00
	札幌手稲	5	35	33	-2	3	93.94
小計		353	357	4	21	89.89	
5	札幌東	4	110	119	9	0	99.32
	札幌清田	2	19	20	1	6	100.00
	札幌幌南	5	51	52	1	0	99.62
	札幌真駒内	4	26	26	0	3	99.00
	札幌南	3	77	80	3	0	99.59
	札幌大通公園	4	8	10	2	1	72.50
	札幌セントラル	3	9	7	-2	3	82.10
	新札幌	4	28	27	-1	3	72.58
小計		328	341	13	16	90.59	
6	岩内	4	20	20	0	0	86.11
	倶知安	4	39	38	-1	6	78.00
	小樽	3	66	71	5	0	91.11
	小樽南	4	72	73	1	2	92.66
	小樽銭函	4	20	19	-1	2	80.26
	蘭越	4	8	10	2	0	97.50
	余市	4	42	43	1	4	81.30
	小計		267	274	7	14	86.71

3月出席率・
会員増減数

クラブ数	72クラブ
期首会員数	2,573人
当月末会員数(女性)	2,631人(118人)
増加会員数	58人
当月平均出席率	84.98%

グループ	クラブ名	例会数	会員数				出席率
			2011.7.1	2012.3.31	増減	内女性	
7	千歳	4	54	55	1	3	76.80
	千歳セントラル	3	32	35	3	2	78.43
	恵庭	3	47	44	-3	3	85.47
	北広島	3	12	16	4	0	87.50
	長沼	4	20	19	-1	3	81.00
	由仁	4	9	9	0	1	94.44
	小計		174	178	4	12	83.94
8	えりも	4	22	26	4	1	92.31
	三石	4	15	15	0	2	70.00
	様似	4	23	23	0	1	78.30
	静内	4	69	74	5	0	62.90
	浦河	3	34	37	3	2	100.00
	小計		163	175	12	6	80.70
	9	伊達	3	56	56	0	0
室蘭		4	37	40	3	0	77.57
室蘭東		4	37	39	2	0	85.30
室蘭北		3	38	34	-4	2	100.00
登別		4	32	32	0	1	84.38
洞爺湖		5	10	10	0	0	96.00
小計			210	211	1	3	87.21
10	函館	4	77	82	5	0	77.15
	函館亀田	3	39	38	-1	4	90.74
	森	4	40	44	4	0	71.50
	七飯	3	14	14	0	0	69.04
	長万部	4	7	8	1	0	78.10
	函館セントラル	3	29	29	0	2	75.86
	小計		206	215	9	6	77.07
11	江差	4	11	10	-1	1	92.50
	函館五稜郭	4	43	40	-3	0	94.84
	函館東	3	45	43	-2	6	82.30
	函館北	4	23	25	2	0	93.75
	北斗	5	17	15	-2	0	56.00
	松前	4	3	3	0	0	66.00
	小計		142	136	-6	7	80.90
12	白老	3	28	29	1	2	72.00
	苫小牧	4	48	49	1	2	79.28
	苫小牧東	4	26	28	2	4	88.40
	苫小牧北	3	24	26	2	3	96.05
	小計		126	132	6	11	83.93
合計		2,573	2,631	58	118	84.98	

旧坂牛邸

小樽市歴史的建造物、坂牛邸は1927年木造2階建て。設計者田上義也氏。坂牛直太郎氏はこの邸宅で弁護士を開業しました。

1934年チャーターメンバーとして小樽ロータリークラブ入会。1960年新350地区（それまでは北海道・東北6県で350地区、以後東北は351地区）のガバナーとなりました。

続小樽ロータリークラブ小史に坂牛先輩は1958年第350地区年次大会（会場小樽・大会委員長 坂牛直太郎氏）を「思い出なすまま」として記しておりますが、その一部を紹介致します。

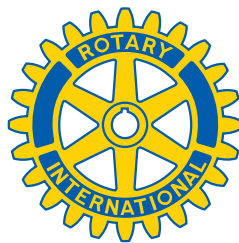
「8月17日前夜懇談会は東北及び北海道合わせて48クラブから150名の参加で北海ホテルの会場が溢れた。18日、19日と大会2日間は会場として、新装なった出来立ての石山中学校の円形校舎を充て、約750名参加した本会議は運動場で行なわれた。懇親大晩餐会には100m余りも離れた色内小学校の運動場を利用する外なかった。他都市にあるような市民会館とか体育館の如き設備のない当時の小樽においてはまさに止むを得ないことであった。」

この記事は1964年に書いたもので市民会館も出来、小樽ロータリークラブのメンバーも92名、設立当時の3倍余と記してありました。

小樽ロータリークラブ会長 金久保 兵士郎 作 *かほろ / 35*



表紙絵：私の残したい小樽シリーズ
「旧坂牛邸」 HEISHIRO.K



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

2011—2012

GOVERNOR

TAKAKI KUMAZAWA